

指しゃぶり

原因

「指しゃぶり」は、欲求不満、人工栄養、育児環境、単なる癖として残っているなどの説があります。

家庭環境、親子関係などにより、子どもに指しゃぶりが現われることもあります。比較的
に多いのは、幼児期の頑固な指しゃぶりが単なる癖として残っているという考え方です。



指しゃぶりの歯並びへの影響・・・



開口



出っ歯



交叉咬合

年齢による指しゃぶりの対応

1歳～3歳……この時期の指しゃぶりは発達期のものととらえ、あまり神経質にならず温かく見守りましょう。

3歳～5歳……幼稚園などの入園をきっかけにやめることがあります。なかなかやめられない場合には誕生日を目標にやめる約束をするなど、きっかけ作りをしてみてください。

5歳をすぎたら…この時期をすぎると自然にはなくなりにくくなります。積極的にやめさせるような働きかけが必要になります。生活環境に問題がないか、それを取り除く努力をすることにより、徐々に少なくなることもあります。

指しゃぶりをやめさせるために家庭でできること

- しゃぶらないように言葉で注意する
- 外遊びや運動をさせる
- 寝つくまでの間、手をにぎったり本を読む
- 眠りながらしゃぶっていたら、親がはずす
- しゃぶらなかつたら褒める
- 指サック・指人形を指にはめる
- くつ下・手袋を手にはめる

